

## 福島復興セミナー

1. 日時： 2012年2月4日（土）10:30～17:30
  2. 場所： エルティ （福島市、JR福島駅より徒歩8分）
  3. プログラム：
    - (1) 開会挨拶
      - 細野豪志 環境大臣兼原発事故の収束及び再発防止担当内閣府特命担当大臣（原子力行政）（調整中）
      - 佐藤雄平 福島県知事（調整中）
      - アドリアーン・ファン・デル・メール ISTC 事務局長
      - ビクター・コルスン STCU 事務局次長
      - ロナルド・リーマン 米国（ローレンス・リバモア国立研究所地球規模課題研究センター長）
    - (2) 「除染・環境修復技術の利用と研究開発に関するシンポジウム」（前日開催）の結果報告
      - 1) ISTC/STCU の除染・修復技術に係る取組 （渡辺康正 ISTC 事務局次長）
    - (3) 福島における除染の取組
      - 1) 福島における除染活動 （石田 順一郎 JAEA 福島環境安全センター長）
      - 2) 生活圏の除染の現状と課題 （富田光 福島市政策推進部長）
    - (4) パネル討論 —原子力災害からの復興に向け海外から学ぶ— （座長：OECD/NEA テッド・ラゾ氏）
      - 1) 健康と農業の視点から  
(パネリスト)
        - ベラルーシ・ブラギン地区中央病院の内科医長
        - 英国・放射線・化学物質・環境センター（農業関係者）
        - ウクライナ・ジャーナリスト組合/チェルノブイリ・ホステッジ基金次長
        - ウクライナ・チェルノブイリ立入禁止区域管理庁第一副長官
- ～ 昼食 ～
- 2) 教育、情報共有、行政の視点から  
(パネリスト)
    - ベラルーシ・チェルノブイリ原子力発電所大災害影響緩和部長
    - ベラルーシ・ゴメル地区理事会議長への主任アドバイザー
    - ベラルーシ・チェルノブイリ原子力発電所大災害影響問題に係るロシア-ベラルーシ情報センター・ベラルーシ支局情報分析課長
    - ウクライナ・大統領戦略調査研究所環境技術安全部主席専門官
- (5) 福島復興に向けて語り合う

1) 福島復興に向けての課題 (大場恭子 金沢工業大学研究員)

2) パネル討論 ―住民、行政、専門家は一体になれるのか― (座長: 大場恭子 金沢工業大学研究員)

(パネリスト)

- 森谷賢 環境省福島環境再生事務所長代行
- 石田順一郎 JAEA 福島環境安全センター長
- 遠藤雄幸 川内村長
- 神谷研二 福島県立医科大学副学長
- 菅野孝志 新ふくしま農業協同組合代表理事専務
- 三瓶一義 富岡町復興ビジョン策定委員会委員長
- 井上正 日本原子力学会クリーンアップ分科会主査
- テッド・ラゾ氏 (OECD/NEA)

(6) まとめ (松井一秋 エネルギー総合工学研究所理事)

(7) 閉会